

製品名: SATB2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21025**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:100-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:83kD;Observed MW:100kD

抗原情報

遺伝子名	SATB2
別名	KIAA1034
遺伝子 ID	23314.0
SwissProt ID	Q9UPW6
免疫原	ヒト SATB2 の合成ペプチド

背景

細胞局在: 核マトリックス...この遺伝子は、核マトリックスの接着領域に特異的に結合する DNA 結合タンパク質をコードしている

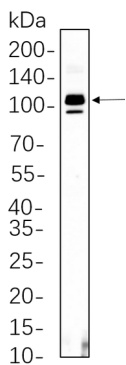
す。コードされているタンパク質は、転写制御とクロマチンリモデリングに関与しています。この遺伝子の異常は、孤立性口蓋裂および精神遅滞と関連しています。選択的スプライシングにより、同じタンパク質をコードする複数の転写バリエーションが生じます。

[RefSeq 提供、2010年2月]

研究分野

-

画像データ



THP-1 全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、膜を SATB2 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でブロットニングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。